



2025年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年11月13日

上場会社名 株式会社一家ホールディングス 上場取引所 東
コード番号 7127 URL <https://ikka-holdings.co.jp/>
代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 武長太郎
問合せ先責任者（役職名） 取締役管理部長（氏名） 高橋広宜 (TEL) 047-711-0850
半期報告書提出予定日 2024年11月13日 配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 有（機関投資家・アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2024年4月1日～2024年9月30日）

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期中間期	4,546	8.0	△217	—	△229	—	△158	—
2024年3月期中間期	4,209	11.2	△12	—	△17	—	△9	—

(注) 包括利益 2025年3月期中間期 △145百万円(—%) 2024年3月期中間期 △5百万円(—%)

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期中間期	△22.21	—
2024年3月期中間期	△1.35	—

(注) 潜在株式調整後1株当たり中間純利益については、潜在株式は存在するものの1株当たり中間純損失であるため記載していません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期中間期	5,691	931	15.8
2024年3月期	5,380	1,063	19.2

(参考) 自己資本 2025年3月期中間期 898百万円 2024年3月期 1,031百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2025年3月期	—	0.00	—	—	—
2025年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,624	15.1	366	60.8	347	58.4	219	177.6	30.76

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 有
新規 1社(社名) 株式会社一家レジャーサービス、除外 1社(社名) 1

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2025年3月期中間期	7,134,800株	2024年3月期	7,115,700株
2025年3月期中間期	1株	2024年3月期	1株
2025年3月期中間期	7,121,231株	2024年3月期中間期	7,092,845株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(中間期)

※ 第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通しに関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束するものではなく、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
中間連結損益計算書	6
中間連結会計期間	6
中間連結包括利益計算書	7
中間連結会計期間	7
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

文中の将来に関する事項は、当中間連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

(1) 業績の状況

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、依然としてロシア・ウクライナ情勢、円安進行、原材料費・エネルギーコストの高騰などの影響が長期化しており、未だ景気の先行きは極めて不透明な状況が続いております。

外食業界におきましては、アフターコロナにおける経済活動の正常化が進み、インバウンド需要も回復基調である一方、原材料費・光熱費等の高騰や人材不足及び採用コストの増加など、依然として厳しい状況が続いております。

このような状況の中、当社グループは、『あらゆる人の幸せに関わる日本一のおもてなし集団』というグループミッションのもと、より多くのお客様におもてなしによって感動を提供するために、優秀な人材の確保及びサービス力向上、各ブランドのブランド力向上に注力してまいりました。

飲食事業においては、新規出店、既存店のサービス力向上及び店舗オペレーションの改善、各業態における自社アプリなどの会員獲得によるリピーター客数の増加に継続して注力してまいりました。

新規出店・業態変更に関しては、ドミナントエリアへの新規出店（屋台屋博多劇場浦和店・中野店）、バーベキュー・ビアガーデン業態の新規出店（THE SKY RESORT BBQ SOGO OMIYA（11月17日までの期間限定）、京王スカイビアガーデン（9月30日までの期間限定））及び肉のウエキ業態を1店舗（肉のウエキ東京ドームグルメストリートポップアップ・ショップ（8月14日までの期間限定））新規出店したことにより直営店は合計で84店舗となりました。

既存店（屋台屋博多劇場業態・こだわりもん一家業態・大衆ジンギスカン酒場ラムちゃん業態・にのや業態・韓国屋台ハンサム業態）客数は前年同期比1.0%減で推移した一方、既存店客単価は前年同期比1.2%増で推移し、既存店売上高は前年同期比0.2%増となりました。

しかしながら、今夏の記録的猛暑の長期化などの天候不順が大きく影響し、客数が想定より伸び悩み、それにより人件費率が上昇したことに加え、原材料費高騰による原価率の上昇が利益を圧迫し、営業利益は前年同期比で減益となりました。

ブライダル事業においては、近年、ブライダル市場全体で結婚式のニーズの多様化により少人数婚のニーズが高まり、婚礼1組当たりの組人数が減少傾向にある中、婚礼の主力広告媒体との連携強化、SNSを活用したブランディング強化による来館数・成約率の向上、サービス力向上及びコスト削減、宴席の新規案件の取り込み及びリピート客数の増加、レストランのサービス力、商品力の向上及び新規客数の増加にも継続して注力してまいりました。

婚礼の組人数・組単価については、大人数での挙式ニーズが回復してきたことにより、前年同期比で増加し好調に推移いたしました。また、前年は6月5日から9月8日まで婚礼施設「The Place of Tokyo」を大型リニューアルのため、全館休業しておりましたが今期は全館通常営業しており、婚礼・宴席の施行件数及びレストランの客数は前年同期比で増加いたしました。その結果、売上高は前年同期比で増加いたしました。

一方で、リニューアル後の人的リソースの増強による人件費及び外部販促強化による広告宣伝費の上昇のほか、今期は全館通常営業したことにより各種販売費及び一般管理費が前年同期比で上昇したことにより営業利益は前年同期比で減益となりました。

その他、2024年4月15日にレジャー事業の運営を主な目的とする子会社である株式会社一家レジャーサービスを設立し、当中間連結会計期間より同社を連結の範囲に含めております。

以上の結果、当中間連結会計期間における売上高は4,546,940千円（前年同期比8.0%増）、営業損失は217,804千円（前年同期は営業損失12,527千円）、経常損失は229,559千円（前年同期は経常損失17,786千円）、親会社株主に帰属する中間純損失は158,195千円（前年同期は親会社株主に帰属する中間純損失9,548千円）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

① 飲食事業

売上高は3,851,580千円（前年同期比4.5%増）、セグメント損失（営業損失）は53,225千円（前年同期のセグメント利益（営業利益）は123,409千円）となりました。

② ブライダル事業

売上高は695,210千円(前年同期比32.6%増)、セグメント損失(営業損失)は173,885千円(前年同期のセグメント損失(営業損失)は147,537千円)となりました。

③ その他

その他は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、レジャー事業を含んでおります。セグメント損失(営業損失)は3,765千円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(総資産)

当中間連結会計期間末における総資産は、新規出店等に伴い有形固定資産が109,757千円、敷金及び保証金が48,850千円、繰延税金資産が74,616千円増加したことなどにより、5,691,826千円(前連結会計年度末比310,941千円の増加)となりました。

(負債)

当中間連結会計期間末における負債は、買掛金が19,765千円減少したものの、未払金が8,678千円、長期借入金が523,384千円増加したことなどにより、4,760,568千円(前連結会計年度末比442,720千円の増加)となりました。

(純資産)

当中間連結会計期間末における純資産は、その他有価証券評価差額金が11,512千円増加したものの、親会社株主に帰属する中間純損失の計上に伴い利益剰余金が158,195千円減少したことなどにより、931,257千円(前連結会計年度末比131,778千円の減少)となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当中間連結会計期間における現金及び現金同等物の残高は1,503,053千円(前年同期は1,272,925千円)となりました。当中間連結会計期間におけるキャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当中間連結会計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは190,799千円の支出(前年同期は101,943千円の収入)となりました。これは、税金等調整前中間純損失229,559千円の計上及びその他の負債の減少70,288千円などによる資金の減少が、減価償却費120,007千円の計上、売上債権の減少20,250千円などによる資金の増加を上回ったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当中間連結会計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは283,865千円の支出(前年同期は241,369千円の支出)となりました。これは、有形固定資産の取得による支出208,650千円及び投資有価証券の取得による支出30,396千円などによる資金の減少が、有形固定資産の売却による収入23,178千円及び差入保証金の回収による収入5,101千円などによる資金の増加を上回ったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当中間連結会計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは506,652千円の収入(前年同期は330,174千円の収入)となりました。これは、長期借入れによる収入1,100,000千円などによる資金の増加が、長期借入金の返済による支出580,160千円などによる資金の減少を上回ったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当中間連結会計期間における業績が概ね当初計画通りに進捗していることから、2025年3月期の業績予想については、2024年5月15日公表の「2024年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」に記載の予想を変更しておりません。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,579,354	1,614,942
売掛金	304,477	284,227
その他	198,281	220,931
貸倒引当金	△236	△225
流動資産合計	2,081,877	2,119,875
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	2,422,939	2,473,294
減価償却累計額	△886,820	△935,085
建物及び構築物(純額)	1,536,119	1,538,209
その他	880,769	1,034,825
減価償却累計額	△614,758	△661,146
その他(純額)	266,011	373,678
有形固定資産合計	1,802,130	1,911,888
無形固定資産		
のれん	4,203	3,502
その他	2,508	5,120
無形固定資産合計	6,711	8,623
投資その他の資産		
敷金及び保証金	798,896	847,746
繰延税金資産	315,640	390,256
その他	375,628	413,435
投資その他の資産合計	1,490,164	1,651,439
固定資産合計	3,299,006	3,571,950
資産合計	5,380,884	5,691,826

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	254,355	234,590
1年内返済予定の長期借入金	956,605	953,061
未払金	429,410	438,088
未払法人税等	2,499	5,849
その他	278,744	206,763
流動負債合計	1,921,614	1,838,352
固定負債		
長期借入金	1,946,510	2,469,894
資産除去債務	295,222	302,908
その他	154,500	149,413
固定負債合計	2,396,233	2,922,216
負債合計	4,317,847	4,760,568
純資産の部		
株主資本		
資本金	35,838	42,494
資本剰余金	1,203,011	1,209,667
利益剰余金	△238,492	△396,687
株主資本合計	1,000,356	855,474
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	31,597	43,110
その他の包括利益累計額合計	31,597	43,110
新株予約権	22,555	22,555
非支配株主持分	8,526	10,117
純資産合計	1,063,036	931,257
負債純資産合計	5,380,884	5,691,826

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
売上高	4,209,057	4,546,940
売上原価	1,409,967	1,524,253
売上総利益	2,799,089	3,022,686
販売費及び一般管理費	2,811,617	3,240,490
営業損失(△)	△12,527	△217,804
営業外収益		
助成金収入	1,350	1,066
利子補給金	1,508	1,057
その他	1,360	2,845
営業外収益合計	4,218	4,969
営業外費用		
支払利息	8,008	14,823
その他	1,468	1,901
営業外費用合計	9,476	16,724
経常損失(△)	△17,786	△229,559
税金等調整前中間純損失(△)	△17,786	△229,559
法人税、住民税及び事業税	5,937	5,883
法人税等調整額	△13,683	△78,839
法人税等合計	△7,745	△72,956
中間純損失(△)	△10,040	△156,603
非支配株主に帰属する中間純利益又は非支配株主に 帰属する中間純損失(△)	△491	1,591
親会社株主に帰属する中間純損失(△)	△9,548	△158,195

中間連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
中間純損失(△)	△10,040	△156,603
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	4,113	11,512
その他の包括利益合計	4,113	11,512
中間包括利益	△5,927	△145,091
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	△5,435	△146,682
非支配株主に係る中間包括利益	△491	1,591

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純損失(△)	△17,786	△229,559
減価償却費	110,766	120,007
長期前払費用償却額	17,938	18,609
のれん償却額	700	700
支払利息	8,008	14,823
助成金収入	△1,350	△1,066
売上債権の増減額(△は増加)	△34,359	20,250
仕入債務の増減額(△は減少)	△2,497	△19,765
未払金の増減額(△は減少)	37,689	△12,173
その他の資産の増減額(△は増加)	1,615	△20,458
その他の負債の増減額(△は減少)	△1,491	△70,288
その他	2,445	4,978
小計	121,679	△173,941
利息の支払額	△8,633	△15,860
法人税等の支払額	△16,470	△2,452
補償金の受取額	3,821	-
助成金の受取額	1,350	1,066
その他	196	388
営業活動によるキャッシュ・フロー	101,943	△190,799
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△205,307	△208,650
有形固定資産の売却による収入	-	23,178
投資有価証券の取得による支出	△30,396	△30,396
無形固定資産の取得による支出	△610	△3,000
資産除去債務の履行による支出	△6,670	-
差入保証金の差入による支出	△9,632	△55,437
差入保証金の回収による収入	19,922	5,101
その他	△8,675	△14,660
投資活動によるキャッシュ・フロー	△241,369	△283,865
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	740,000	1,100,000
長期借入金の返済による支出	△406,112	△580,160
株式の発行による収入	638	-
リース債務の返済による支出	△4,352	△13,187
財務活動によるキャッシュ・フロー	330,174	506,652
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	190,748	31,987
現金及び現金同等物の期首残高	1,082,176	1,471,066
現金及び現金同等物の中間期末残高	1,272,925	1,503,053

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。